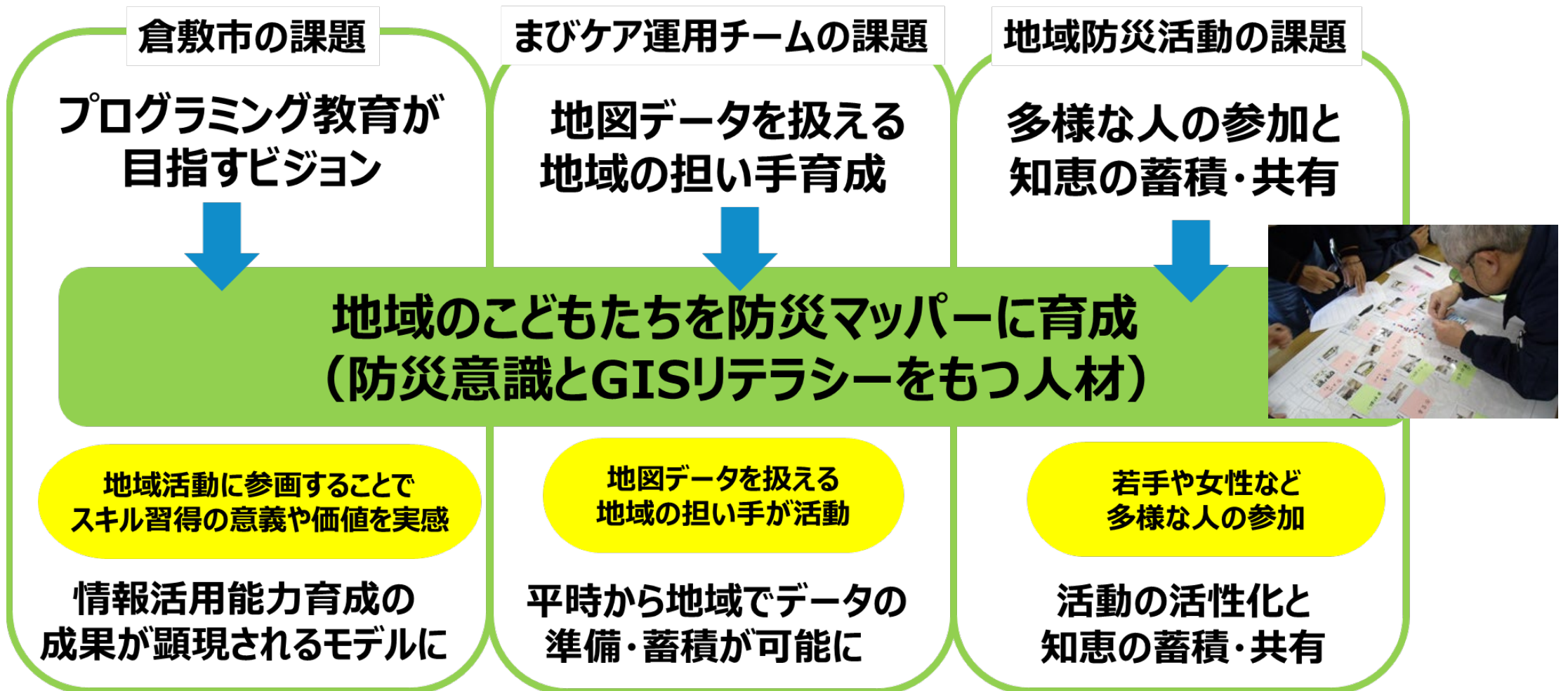


# こども防災マップクラブ

「まびケア」運用チーム

## 課題と解決アイデア



**情報活用能力の育成**

○情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的資質(「情報活用能力」)を読み、書き、算盤に並ぶ基礎・基本と位置付け、その育成に取り組む。

<p><b>A 情報活用の実践力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</li> <li>必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</li> <li>受け手の状況などを踏まえた発信・伝達</li> </ul>	<p><b>B 情報の科学的な理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解</li> <li>情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解</li> </ul>	<p><b>C 情報社会に参画する態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解</li> <li>情報モラルの必要性や情報に対する責任</li> <li>望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度</li> </ul>
--	---	---

【取組例】

- ICTの基本的な操作、情報の収集・整理・発信(文字入力、インターネット閲覧、情報手段の適切な活用等)等
- プログラミング(コンピュータを利用した計画・制御の基本的な仕組みの理解)等
- 情報モラル(情報発信による他人や社会への影響等)

プログラム教育は、情報および情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的資質(情報活用能力)育成の一要素である。

→ 防災分野の地理空間情報を例に、情報活用能力育成を目指す。

## 経験を積み重ねて防災マップパーへ

地図に興味を持つこどもたちに早期の地図遊び体験、GIS基礎技術を学ぶ機会の提供を行い、マッピングワークショップ(作ったマップで現地を歩いて写真や情報を紐付けする)を開催したり、地域の防災活動への参加をコーディネートして、防災に役立つ情報をマッピングするなどの経験を積み重ねることでGISリテラシーと防災意識を身につけた「防災マップパー」を育成する。

出典：新学習指導要領のポイント(情報活用能力の育成(プログラミング教育含む)関連)

**GISの仕組みは** ★ 地図から探す

**親子マップクラブ** → **こどもマップクラブ** → **防災マップクラブ**

早期の経験・意識付け  
親子マップクラブ

GIS基礎技術の習得  
こどもマップクラブ

地域防災活動の現場で実践  
防災マップクラブ

地図ってなあに  
どこにいるかな

役立つ情報をマッピング

親子でまち歩き  
現場で投稿

出典：UDC2016  
アイデア部門ボトムアップ型地域防災ナレッジマップ



# アイデアの背景

## ■ 平時から災害時の生活支援に役立つデータの準備が必要

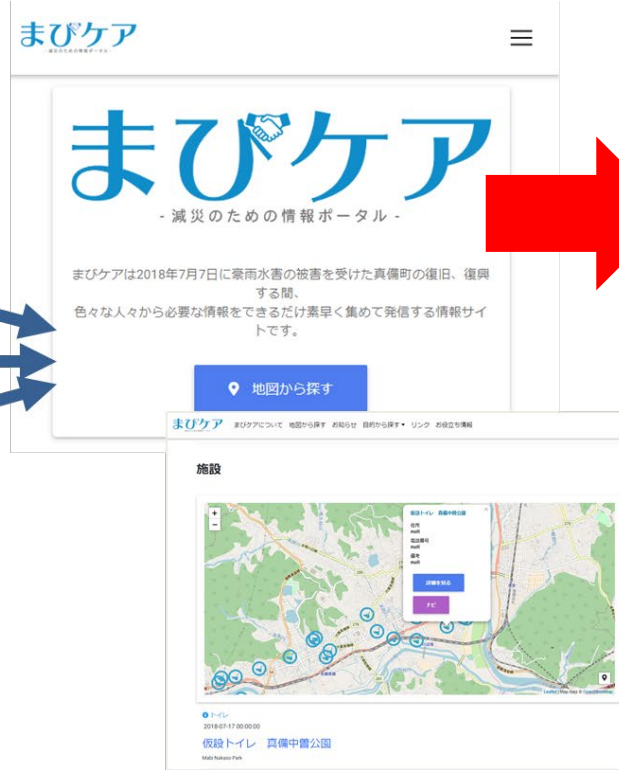
平成30年豪雨の被災地、倉敷市真備地区で立ち上げた「まびケア」を全国で利用できる「まちケア」へ拡充し、令和元年台風15号、台風19号被災地に提供した。

千葉県館山市：充電スポットやWi-Fiスポット  
 長野県長野市：利用可能な医療機関やホームセンター等  
 宮城県丸森町：風呂、トイレ、災害ゴミ収集場所等



現地での確認情報  
 口コミ情報  
 避難所の掲示物

ボランティアが現場で情報収集～投稿



被災地におけるデータ登録作業負荷とデータのばらつきという課題は、1年たっても解決しておらず、平常時に被災者生活支援に役立つデータを地域で用意しておくことの重要性を改めて認識した。

## ■ 地理情報活用の重要性

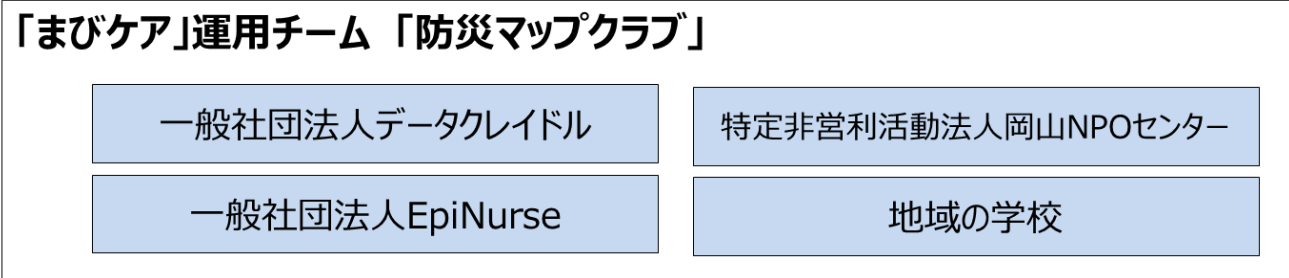
- ★防災減災には、自然災害の原因となる自然現象、地域・地形特性を知ることから始まる。地学的・地理的な知識の習得は重要である。
- ★地理科目は、2022年より次期高等学校学習指導要領において必修科目として追加される。

## ■ 先行事例調査結果

- 【WEB調査】民間プログラミング教室における地理空間情報活用講座は見当たらなかった。
- 【市に問合せ】倉敷市では、初等中等教育における地理空間情報活用の事例はまだないと回答があった。

# アイデア実現までの流れ

### (1) 実施体制



### (2) 実現に必要な資源

	親子マップクラブ	こどもマップクラブ	防災マップクラブ
主な対象者	親子	小学生・中学生	中学生・高校生
活動拠点	データ分析サロン（データクレイドル運営）		
教材・育成プログラム	国土交通省「防災教育ポータル」、国土地理院「地図で学ぶ防災ポータル」などの既存コンテンツを活用し、年代ごとの育成プログラムと教材を整備する。		
メンター	GISリテラシー保有者（学生含）と減災（防災士）・生活支援（看護師）など多方向から募集		
GIS環境	データ分析サロンGISツール		
地理空間情報	地理院地図、防災に役立つオープンデータ		

### (3) スケジュール（案）

	2020年												2021年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					
マップクラブ運営																		
体制づくり	←	←																
育成プログラム・教材作成			←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
環境整備				←	←													
メンター募集～育成			←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
マップクラブ運営				←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
マップクラブ活動																		
親子マップクラブワークショップ						←	←										←	←
こどもマップクラブワークショップ						←	←											←
防災マップクラブワークショップ									←	←							←	←
学校でのワークショップ（出前授業）										←	←							

### (4) 活動経費

岡山県や倉敷市に事業提案し、経費補助を期待。